



都島だより KANTO NANIWA KOGYOKAI NEWS 8 関東浪速工業会 会報

発行責任者

太田 清

流山市名都借224-5 〒270-01 TEL 0471-46-0219

投稿送り先

榎本嘉信(昭20士) 〒176 練馬区光が丘6-1-2-105 TEL (03)3976-6328

編集委員 電気=笹本克己(S13卒) 田中己晴(S43卒)・土木=秋月勝美(S18卒) 榎本嘉信(S20卒)・建築=若林衛(S36卒) 西口勝臣(S47卒) 工化=松井駒治(S32卒) 柴田孝次(S34卒)・機械=福岡輝夫(S26卒) 橋本健治(S28卒)・石川芳夫(S34卒)

幹事会のこと

会長 太田 清 C18

平成四年度の総会におきまして会長を、お引受け致しましたので、過去昭和六十二年一度に一度お勤めになりましたので今度二度目のお勤めになります。恙なく後任の方に引継ぐ事を念じております。

世の中は「バブル」の崩壊で不景気風が吹き荒れ、景気の見透しは立たず。「田高、ドル安」の今日この頃です。平成五年度も厳しい年になると世間では云っておりますが、この危機を乗り越え良い年にしたいと思っておりますが！

次に平成五年度の行事を左記の通り計画致しました。一、見学会 朝日新聞 ビール 会社

幹事二年の雑感

竹村繁幸 E36

昨年、電気科は正幹事として会員相互のコミュニケーションを図るべく、関東浪速工業会を運営してきました。

私はその幹事の一人として、諸先輩と共にお手伝いをさせて頂いていただきました。

私は昭和59年に大阪より東京への転勤族です。東京へ出張で再々来ておいても、いざ生活圏となると右も左も解らない状態

でした。当然、関東浪速工業会の存在も知りません。この同志会を初め、東京世情を教えてくださいました。同期で先住の馬江君で

した。会社の先輩、友人があつても、やはり腹を割って話し合えるのは同窓生であることを痛感しました。(この紙面を借り

て馬江君に御礼申し上げます) さて、関東浪速工業会が約六百名の会員を有することを幹事になって知り、そのコミュニケーションの必要性を認識させられました。皆さんに近況を伝え

一、観光 夜のお江戸

一、リクレーション ゴルフ 旅行会

一、その他 Mニュース発行 以上です。皆様方の御参加をさて、この関東浪速工業会が各科から選抜された幹事の皆様方のみならず、御努力により会が運営されている事が、充分御承知の事と存じますが、その御尽力、御苦労、に對しまして、改めて、深甚な謝意を表したいと思つて、ついでに「Mニュース」も投稿が少なく

編集者が、電話足枷で原稿集め致しております。是非特種をお待ち致しております。最後にお願いです。各科の卒業生の皆様、皆様の関東浪速工業会です。都工健児の精神を発揮して、大いに繁栄させようではありませんか。

一、観望 夜のお江戸 以上です。皆様方の御参加をさて、この関東浪速工業会が各科から選抜された幹事の皆様方のみならず、御努力により会が運営されている事が、充分御承知の事と存じますが、その御尽力、御苦労、に對しまして、改めて、深甚な謝意を表したいと思つて、ついでに「Mニュース」も投稿が少なく編集者が、電話足枷で原稿集め致しております。是非特種をお待ち致しております。最後にお願いです。各科の卒業生の皆様、皆様の関東浪速工業会です。都工健児の精神を発揮して、大いに繁栄させようではありませんか。

例年、幹事会で頭を痛めているのが実情と聞きます。(イベントに出席できなくても、会員相互で親睦を図っていただければ目的は達しているものと思えます。)

○見学会 ゴルフコンペ、小旅行、等

○Mニュースの発行

等を企画し、皆さんに御案内してきました。しかし、ハガキの回収率は約30%、出席率は約10%です。出席率はともかく、回収率が低いのは幹事として情

くなりです。皆んなボランテイアでやっています。お忙しいでしょうが通勤の途中にハガキ一枚を投函して下さい。なお、皆さんがもっと参加しやすいイベントや方法がありましたらお教え下さい。回収されたハガキの近況欄で奥様から「主人は〇〇国へ赴任中です」と知らされ、先輩が海外で活躍されていることを誇りに思い、また、「主人は〇〇月に他界しました」と知らされた、自分の親ほどの大先輩がおられたことを認識させられました。このような、身近なニュースから、相互の話題となり、日常生活や業務の潤滑油として利用してもらえばよいのではないのでしょうか。

あこがれの橋これこれ

西谷通晴 C9

今東京ウオーターフロントの象徴とも言うべき大吊橋の工事が進行して、着々とその威容を形成しつつあります。私は仕事の都合で時々その付近を通りながら、同じ土木の道を選んだ人間としてこの様な事業にたずさわっている人々の姿を羨ましく思いつつ遠くからしげしげとその偉大な姿を眺めていきます。

子供の頃から八百橋のどきんと生まれ育ったので橋の上から川の流れや行き交う舟を見てよく遊んだものでした。なかでもアーチ橋や逆アーチの吊橋を見

ると、あたかも富士山を眺めるごとく、また天下の美人に出合ったように、ついうつと、しばし時の経つのを忘れる程のあこがれのアーチ橋であり、サスペンションブリッジなのです。隅田川に架かる多くのアーチ橋、少し変わったところで荒川沿いの高速道路のハープ橋、そしておなじみ横浜ベイブリッジ(これは完成直後に渡りました) 遠くには瀬戸大橋、関門橋、大鳴門橋、これから出来る明石大橋、アメリカではゴールデンゲートブリッジ等々、何百米の大径間で谷を、川を、海をひとまたぎ、ふたまたぎと架けて行く美しい姿はもう私をたまらなくさせてしまいます。昔々、私は都工の卒業設計に大好きな桜の宮橋をまねて、スリーヒンジ式アーチ型、スパン百二十米の道路橋を選んだために大失敗をしたことがあります。当初先生方がその計画を発表した際「お前ではとても無理だ、他の課題にしてはどうか」との御忠告にも従わず、虹のかけ橋を夢見て強行、なんらの参考図もデータも持たず、なんの参考書も一冊の鋼橋と言ふ立派な参考書を唯一の師範として、とにもかくにも、A5版の用紙約百八十頁の構造計画書を十一月末に仕上げたが図面の方がとても間に合はず、結果的には二月中頃急遽計画変更、最も簡単な単桁橋の設計に模様替をし、それも仲良しの友達の御援助を仰いで、やっと卒業設計を提出することが出来ました。そのため、卒業証書を十日遅れの三月二十五日に頂いたので、落第は免れたものの、十日間の卒業延期をくら

り、あたかも富士山を眺めるごとく、また天下の美人に出合ったように、ついうつと、しばし時の経つのを忘れる程のあこがれのアーチ橋であり、サスペンションブリッジなのです。隅田川に架かる多くのアーチ橋、少し変わったところで荒川沿いの高速道路のハープ橋、そしておなじみ横浜ベイブリッジ(これは完成直後に渡りました) 遠くには瀬戸大橋、関門橋、大鳴門橋、これから出来る明石大橋、アメリカではゴールデンゲートブリッジ等々、何百米の大径間で谷を、川を、海をひとまたぎ、ふたまたぎと架けて行く美しい姿はもう私をたまらなくさせてしまいます。昔々、私は都工の卒業設計に大好きな桜の宮橋をまねて、スリーヒンジ式アーチ型、スパン百二十米の道路橋を選んだために大失敗をしたことがあります。当初先生方がその計画を発表した際「お前ではとても無理だ、他の課題にしてはどうか」との御忠告にも従わず、虹のかけ橋を夢見て強行、なんらの参考図もデータも持たず、なんの参考書も一冊の鋼橋と言ふ立派な参考書を唯一の師範として、とにもかくにも、A5版の用紙約百八十頁の構造計画書を十一月末に仕上げたが図面の方がとても間に合はず、結果的には二月中頃急遽計画変更、最も簡単な単桁橋の設計に模様替をし、それも仲良しの友達の御援助を仰いで、やっと卒業設計を提出することが出来ました。そのため、卒業証書を十日遅れの三月二十五日に頂いたので、落第は免れたものの、十日間の卒業延期をくら

旅の途中で

M21 金田龍之介

一月の終り頃、大阪に用事で行った時、桜宮駅から都島南通の方(陸橋の手前)に出て、ふぐ料理の店「おおもろ」を捜したが、昔の電車通りになるまでが道が変わっていて難儀した。やっとならんで久しぶりに美味い河豚を食べた。同じカウスターに工業化学科50年卒の男性が坐っていた。帰りに母校の正門前には行かずに帰った。地下鉄で梅田に出てホテルへ行った。大阪へ行くとも都島辺りには自然と足が向く。

三年程前、剣道部の寒稽古の始めの日が一月二日で、仕事も休みだったので久ぶりに出かけて行って道場で稽古をしたがその年卒業する二段の生徒とやっついて、後すきりした時に左胸の筋がつってしまつて一ヶ月程これも旅先で難儀した。剣道部からは「ごないですか」の一言くらいあるかなと思つたが何の言葉もなかった。母校に寄せる想い込みは強い方だが肩すかしを食わず奴が多いから遠くから見ることにして

満州や北ボルネオ、また戦後日本の各地でいろいろな事業や工事にたずさわって来ましたが、今ではついに建築板金工屋の七十七才のおやじさんに成り下がった私は、この立派な大吊橋の工事現場を見るたびに、しばし感慨無量ひとしよと言つたところの最近です。(因みに東京都では、このウォーターフロントブリッジの愛称を募集しているそうです。皆さんも応募なさっては如何が?)

### 楽しき哉 グラス会

CH 32 佐々江延宣

去る三月二十日、二十一日の二日間、久しぶりのクラス会が伊勢で開かれ参加致しました。彼岸の中日は云々まだ肌寒い感じもありましたが、四年前まで母校の校長として活躍され我々の担任でもあった井口茂先生を囲み、総員十二名でしたが楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

この年(五十四、五才)になりますと見た目ではかなりのバラツキが出て、先生(64才)より年をとっている感じの者から10才位年下に見える者まで、又タイプも様々ですが、酒を呑みながらワイワイガヤガヤしているところ確かにクラス会だと認識出



理数互学社友会 都島支部

来ることでした。思い出話も各自その時期の感じ方が異なり、又その後の経験も異なるため、以外なことを思い出したり、思い出させたりで新しい発見をしたようなことも多々あり、本当に楽しいひと時でした。概して共通で思い出に残っていること等、かくれて悪いことをしたことなどが多く、又それを今になる先生は知っていたと暴露される事、クラス会ならではのエピソードも多く飛び出し、夜が更けるのも忘れる一日でした。二日は何人かの人は所用で帰りましたが、天候にも恵まれ、伊勢志摩スカイラインをドライブしたり、海女の表演を見たりして楽しみ、内宮に立寄り昼食後大阪と東京に分かれて各々帰路につききました。短い時間でした

が本当に楽しい旅行でした。次回には還暦にするかとの案が出ましたが、それでは間が空きすぎるのと意向もあり、開催時期 開催場所も含めて関東地区在住の幸龍三君と小生が幹事となり東海地区位で企画することになりました。なお、母校では昨年工業化学科が無くなり、新たに理数工学科がスタートしましたので、先輩格として応援団に横幕を贈ることになり、その書体(同クラスの書道家、水之某氏作)が披露されました。(写真は出席者とその書体の実物です。)

### 隅田挽夏

- ・回向院 鼠小僧の墓灼けて触れ太鼓 祭りころとなりにけり
- ・青芭蕉 深川めしの店さがす
- ・水門の 信号青し葉月潮
- ・屋形船 次つきぐる橋涼し
- ・夕やけの 真っ只中の屋形舟
- ・晩涼の 風軸先より吹き抜けて
- ・屋形舟 涼しき一語交し合ひ
- ・涼み舟 聚めて暮るる台場沖
- ・新涼の 灯の青々と清洲橋



M18 小川玉泉

### 幹事懇親一泊旅行記

E13 笹本克巳

例年、秋の総会で当番料が交代していますが年が明けてから前年度当番料幹事の慰労を主目的として幹事一同にて懇親の一泊旅行を行っています(費用は参加者自己負担) 今年は4月9、10日伊豆長岡温泉に行ってきました。

9日夕、さかなや旅館に集合して入浴後宴会では楽しく団らんの一夜を過ごし、翌日は有志が定期観光バスを利用して葦山の反射炉から江川邸を見学し西海岸に出て三津浜シーパラダイスの水族館、イルカの妙技を見物、三島に到着して解散、有意義な旅行でした。

参加者・M中野、橋本、三枝岡野、上田、A鹿山、西阪、岡田、E小林(前会長) 笹本、戸部、吉田、馬江、田中、C榎本 CH柴田の計16名でした。

斯る一泊旅行を見学会でも兼ねて全会員有志が参加できる催しを年一回行いたいものですが参加人数の把握と旅館の予約が仲々手数がかり難しく簡単に企画できずには前向きに考えたいものです。

今年は土木科が当番料ですが計画の概要をお知らせします。

- 6月・見学会(ビール会社又は朝日新聞社)
- 8月・昨年の屋形船に代わって夜のはとバス(オイルランチャー)
- 10月・ゴルフコンペ
- 11月・総会(19日の予定)、それぞれ各位お忙しい毎日と思いますが会に関心を寄せられて、できるだけ参加下さいます。

以上

### 東京48会

A48 西田典宏

東京の現場に転勤が決まって家族共々移って来たのが4年前芝浦の現場で2年半、文京区の現場で1年半、東京の生活にもずいぶん慣れて来ました。



私はゼネコンの現場管理の間で、文京区の現場は設計管理は日建設計でした。配属されて数ヶ月過ぎると机の上に「都島だより」と会員名簿が置いてありました。設計管理の西口氏が2年先輩で、20年の現場生活で2件目のことです。名簿で関東にいた同期の人間を調べたら6名、早速連絡をとると声を聞いていく友、駅から店まで同じように歩いてきたのに室に入って「やっぱりか」という友。昔話に花が咲いて定期的に集まろうという事になって、4月、8月と忘年会、呼称を「東京48会」としました。6名がそれぞれ現場勤務だったので集合場所は幹事の現場としてお互いの現場を参考にしようということになりました。

今年の8月の48会で、大阪の皆はどうしているだろうか、変わったかな、会いたいなという事で、来年の1月3日は20年ぶりの同期会をしようという話になりました。「都島48会」にしようという事になって今から随分楽しみにしています。「今度の正月は大阪に帰ろう」という事で家族と話し合っています。今度は母校に集まるという事で再会を約束しました。

△Mニュースの発刊が原稿の集まりが悪く、遅れましたこと深くお詫び申し上げます。会員の皆さんの声を随時受けつけ、紙面を飾りたいと思いますので奮って御投稿のほどお願い申し上げます。なお、右記の広告についても御協力いただければ幸いです。

(榎本 嘉信)

### 編集後記

◎広生号券集◎

Mニュースに載せる広告を募集致します。掲載料は一段(約55冊)×巾(37冊)で三千元、二倍の大きさは六千元です。デザインは自由ですので広告原稿とお金を添えて編集委員宛にお送り下さい。頂きましたお金は関東浪速工業会費に充当し、通信費等の補助、Mニュースの作製費、その他、会運営のために遣わせて頂きます。

(編集委員会より)

株式会社 精研

夫晴修 芳己

川中倉 石田高

M34 石田高

M43 石田高

E46 石田高

戸部本 健治

E16 戸部本

E28 戸部本

東京都文京区小石川1丁目12番14号 (日本生命小石川ビル7階)

TEL 112-03(03)6689-2361 FAX (03)5689-2361